

大野城市のコミュニティによるまちづくりへの取り組み

【比較】

(H27.6. 未現在)

		大野城市	小城市
人口		99,418 人	45,851 人
世帯数		42,081 世帯	15,767 世帯
面積		26.89 km ²	95.85 km ²
行政区	数	27	180
	最大 人口・世帯数	8,588 人 3,443 世帯	1,547 人 498 世帯
	最少 人口・世帯数	1,375 人 549 世帯	4 人 3 世帯
コミュニティ	数	4	—
	最大 人口・世帯数	34,892 人 15,240 世帯 (中央区)	—
	最少 人口・世帯数	16,594 人 6,786 世帯 (東区)	—
H25 年度 決算額	歳入	32,596,275 千円	21,229,386 千円
	歳出	32,007,933 千円	20,872,750 千円

【経緯】

昭和 46 年 南地区がモデルコミュニティに指定(国のモデル事業)

コミュニティセンター整備

昭和 40 年代後半～昭和 50 年代前半

中央地区、北地区にコミュニティセンター整備



① スポーツによるコミュニティ都市づくり

～新旧住民の交流の機会をスポーツと位置付けて、

コミュニティづくりを開始～

- ・昭和 53 年に当時の小学校区別(4 地区)にコミュニティ運営委員会を設置
- ・市が実施していた全てのスポーツ、レクリエーションイベントをコミュニティ運営委員会に財源も含めて移譲
- ・4 地区にコミュニティセンター建設

② 市民参画によるコミュニティづくり

～スポーツから市民参画をテーマとする生涯学習による

コミュニティづくりに進化～

- ・生涯学習部門を市長部局に移管
- ・コミュニティセンターを生涯学習タイプ(体育館+中央公民館)に建替え、
区の公民館を地域づくりの拠点施設に変換



4つのコミュニティ地区と 27 の行政区

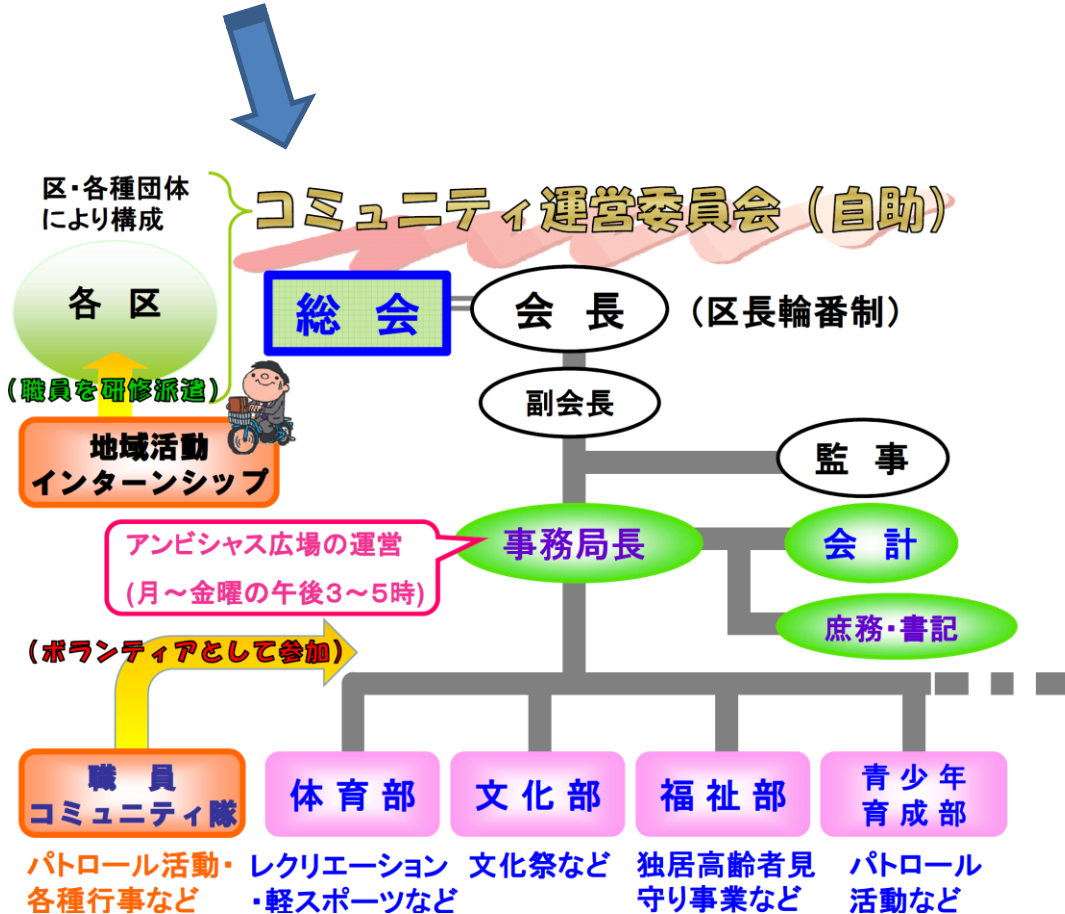
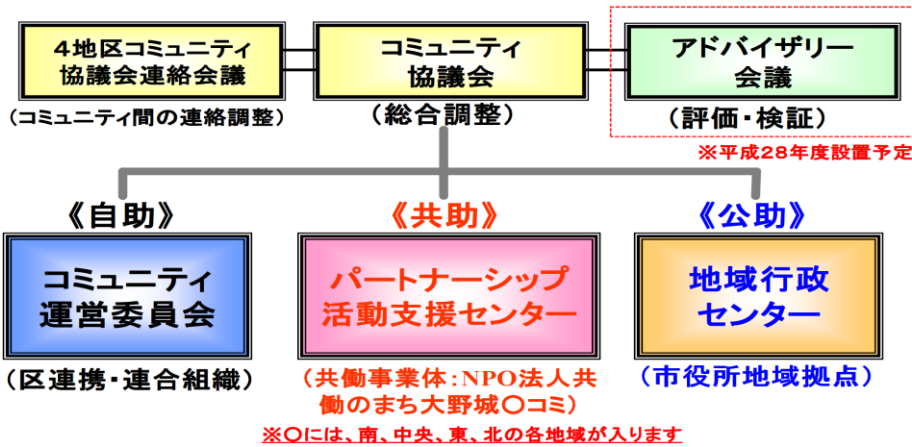
平成 20 年度「コミュニティ構想(人づくり・地域づくり編)」策定
 平成 21 年度「新しいコミュニティのかたち(素案)」作成
 平成 22 年度「新しいコミュニティのかたちアクションプラン(骨子案)」作成
 平成 22 年 12 月 大野城市コミュニティ条例の制定(平成 23 年 4 月から)

【組織体制】

市民(志民)と市の連携・共働による
 新しいコミュニティのイメージ



市内4つのコミュニティセンターに官民連携・共働型の組織体制を整備し、コミュニティのまちづくりの拠点とします。



【運営】

① 活動拠点

*27の区

・公設公民館（老人憩いの家）を整備[公設] … 区が指定管理者として運営

*4つのコミュニティ

・コミュニティごとにコミュニティセンターを整備

… 地域と市が共働で設立したNPO法人が指定管理者として運営

② 財源（予算額）

*区の財源

・区費予算額…27区計 171,446,000円【住民→区】

・地域活動統合補助金予算額(区)…27区計 34,419,000円【市→区】

*コミュニティ運営委員会の財源

・地域活動統合補助金予算額（コミ運）…4地区計 17,692,000円【市→コミ運】

*コミュニティ協議会の財源

・コミュニティ協議会運営交付金予算額…4地区計 1,000,000円【市→コミ協】

・コミュニティ協議会に対する負担金

区 1区あたり 10,000円【区→所属のコミ協】

NPO法人 1法人あたり 50,000円【地域と市の共働NPO→所属のコミ協】

③ 人的支援

*コミュニティ担当職員制度

コミュニティと行政をつなぐパイプ役

任期：1年 配置数：12名

【部長が職員を選考し市長が委嘱】

*コミュニティ推進委員制度

コミュニティ担当職員と連携・共働して、共働のまちづくりを推進

任期：2年 配置数：8名（各コミュニティ2名）

【コミュニティ協議会の推薦により市長が委嘱】

*職員コミュニティ隊

自らの意思により参加するボランティアグループ

コミュニティのイベントスタッフや地域の清掃活動・夜間パトロール

隊員数：各コミュニティ30人強の計139人

*地域活動インターンシップ研修制度

共働のまちづくりに対する職員研修の一環として、区の業務に市職員が参画

区が行う各種事業・企画会議等へのスタッフ補助員

地域の皆さんと知り合いになるきっかけの場

入庁3年目と10年目の職員1人ずつペア 年間40時間

☆大野城市の行政区、区について

*行政区…市と市民との行政連絡等を任務とする行政区を設置

【代表者】行政区長 ⇒ 市の非常勤特別職員、市長が「区長」を委嘱する。

【役割】市政情報の伝達等の職務を行う。

*区…地域の様々な問題の対処・解決等に自主的に取り組んでいる組織

【代表者】区長 ⇒ 住民自治組織の代表としての職務

【役割】コミュニティ活動（住民自治活動）の推進、区内情報の伝達、地域の伝統行事の育成、地域環境美化活動の実施、住民の要望・苦情などの地域課題の解決など

☆大野城市のコミュニティとは？

一般的に「地域社会」「区」のことを指します。大野城市では、各区で構成する南地区・中央地区・東地区・北地区の4つの地区コミュニティを基礎としてまちづくりを進めています。